

製品名: リン酸化 SIRT1 (Thr530) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe87109

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:82 kDa; Observed MW:120 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-SIRT1
別名	SIR2; SIR2L1; SIR2alpha
遺伝子 ID	23411
SwissProt ID	Q96EB6
免疫原	ヒト SIRT1 の Thr530 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

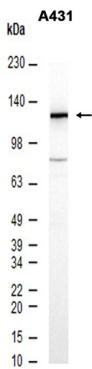
この遺伝子は、酵母 Sir2 タンパク質のホモログであるサーチュインファミリータンパク質をコードしています。サーチュインファミ

リーのメンバーはサーチュインコアダメインを特徴とし、4つのクラスに分類されています。ヒトサーチュインの機能はまだ解明されていませんが、酵母サーチュインタンパク質はエピジェネティックな遺伝子サイレンシングを制御し、rDNAの組換えを抑制することが知られています。研究によると、ヒトサーチュインはモノADPリボシルトランスフェラーゼ活性を持つ細胞内調節タンパク質として機能する可能性が示唆されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サーチュインファミリーのクラスIに含まれます。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq提供、2008年12月]

研究分野

-

画像データ



1:1000のPhospho-SIRT1 (Thr530) ウサギモノクローナル抗体を使用したA431細胞抽出物のウエスタンブロット分析。